



(百万円)

	前年同期	実績	増減額	前年同期比
売上高	2,024	<b>1,468</b>	-557	-27.5%
売上総利益	1,305	<b>825</b>	-480	-36.8%
販管費	1,495	<b>1,335</b>	-160	-10.7%
営業利益	-190	<b>-509</b>	-319	-
経常利益	-279	<b>-515</b>	-236	-
四半期純利益※	-320	<b>-560</b>	-240	-

※親会社株主に帰属する四半期純利益

## 第2四半期連結業績ハイライト(前年同期比)

(2017年4月～9月 6ヶ月間累計)

(百万円)

	期初予想	実績	増減額	期初予想比
売上高	<b>1,800</b>	<b>1,468</b>	<b>-331</b>	<b>-18.4%</b>
営業利益	<b>-430</b>	<b>-509</b>	<b>-79</b>	-
経常利益	<b>-440</b>	<b>-515</b>	<b>-75</b>	-
四半期純利益	<b>-460</b>	<b>-560</b>	<b>-100</b>	-

※親会社株主に帰属する四半期純利益

## 第2四半期連結業績ハイライト(業績予想比)

(2017年4月～9月 6ヶ月間累計)

前年同期比  $\Delta 27.5\%$

ハードウェア製品 1,035 百万円

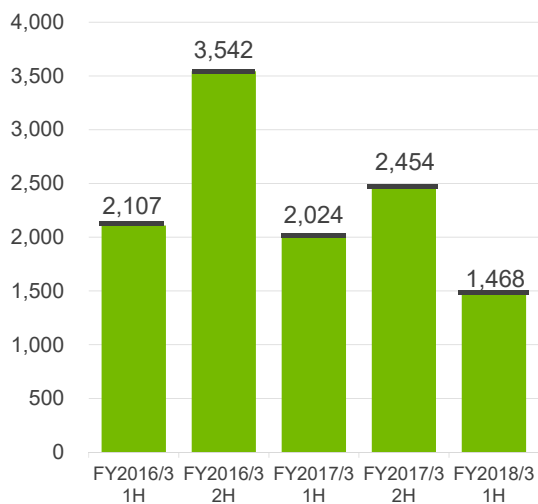
ハードウェア製品比率 70.5%  
(前年同期 84.7%)

海外売上比率 74.9%

(前年同期 79.9%)

## 連結売上高

(百万円)

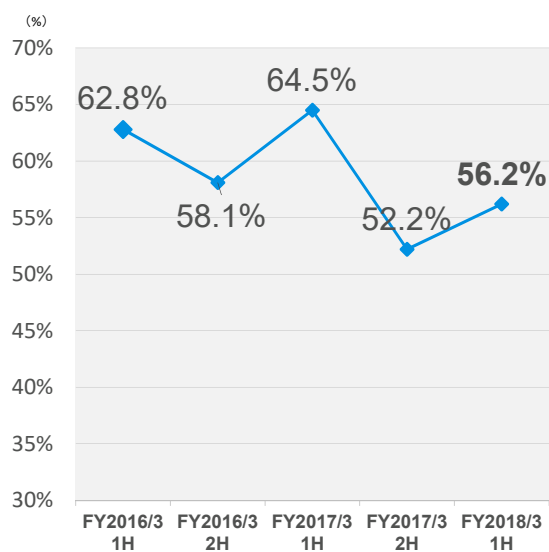


売上総利益率 56.2%

主に日本の放送局向けのシステム構築プロジェクト影響で前年同期に比べて売上総利益率は低下

主力製品MD8000シリーズの競争を引き続き維持

## 売上総利益率





- ネットワークエッジ（ライブスポーツスタジアム）において、帯域幅拡大の需要が続く
- 新規顧客向けの販売増加
- 大規模な案件やネットワーク構築は減少または遅延。売上は、前年同期を下回る

## 地域別売上: 北米市場



- 顧客の投資計画および購買政策の変更により、前年同期を下回る

## 地域別売上: オーストラリア市場



- 上半期は、新規開拓が進まず

## 地域別売上: 欧州市場



- 売上は、前年同期比で、若干の減収
- WANと放送局内のIP化ソリューションの需要堅調

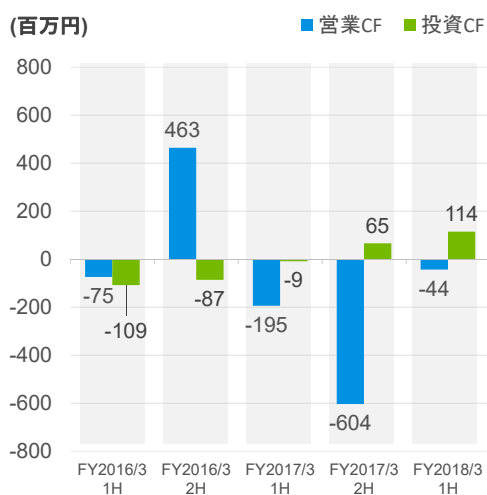
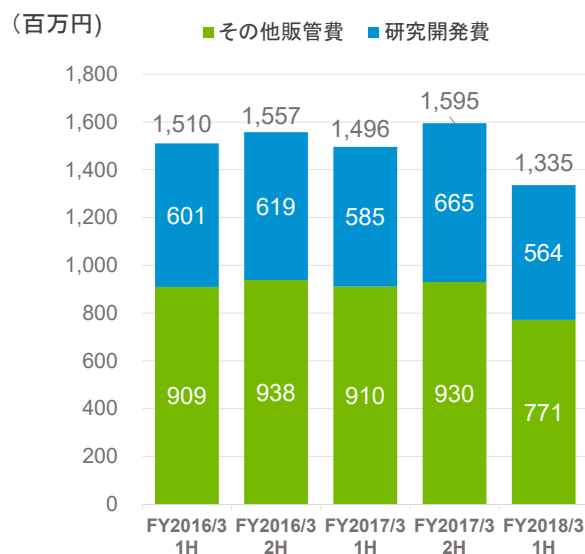
## 地域別売上: 日本(アジア)市場

- 前年同期比  $\Delta$  10.7 %
- 研究開発費 564百万円  
前年同期比  $\Delta$  3.6 %
- その他販管費 771百万円  
前年同期比  $\Delta$  15.3 %

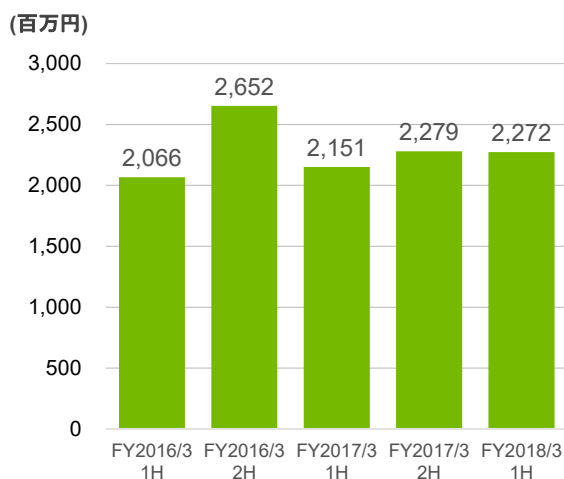
- 2017年9月末人員 103名  
前年同期比  $\Delta$  6名

2016年9月末	109 名
2017年3月末	106 名
2017年9月末	103 名

## 販管費

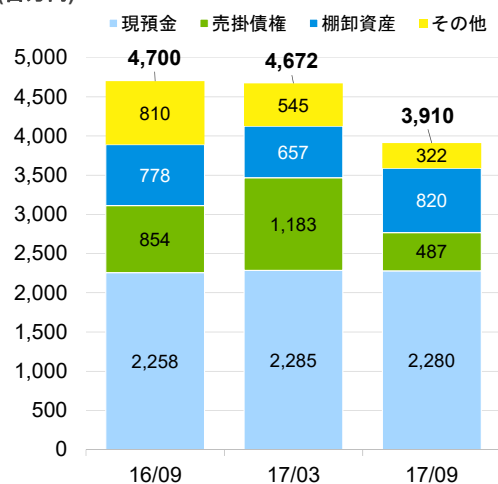


## キャッシュフロー



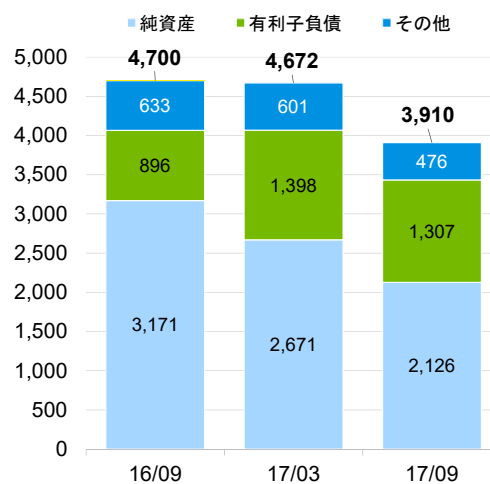
## 現金及び同等物残高

(百万円)



貸借対照表  
資産

(百万円)



貸借対照表  
負債及び純資産

**MEDIA LINKS®**  
Media Defined Networking®

## 2. 2018年3月期 通期業績見通し (2017年4月～2018年3月)

想定為替レートは、前回発表の1米ドル105円から1米ドル110円に変更。豪ドルは、1豪ドル80 円で、変更無。

(百万円)

	前回予想 (5月8日発表)	修正予想 (10月26日 発表)	前回予想との 差異	前回予想との 増減率
売上高	5,500	<b>4,350</b>	-1,150	-20.9%
営業利益	50	<b>-350</b>	-400	-
経常利益	40	<b>-360</b>	-400	-
当期利益※	10	<b>-420</b>	-430	-

※親会社株主に帰属する当期純利益

- ・北米市場は、前年度に大規模案件が多かった反動で需要が弱含み、大規模案件実施が来期以降にずれ込む
- ・オーストラリア市場は、顧客の投資計画および購買政策の変更
- ・営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも、期初予想は下回る見込み。

## 2018年3月期通期 連結業績予想(前回予想との比較)

(2017年10月26日発表)

想定為替レートは、前回発表の1米ドル105円から1米ドル110円に変更。豪ドルは、1豪ドル80 円で、変更無。

(百万円)

	前年度実績	修正予想 (10月26日 発表)	修正予想との 差異
売上高	4,479	<b>4,350</b>	-129
営業利益	-497	<b>-350</b>	147
経常利益	-594	<b>-360</b>	234
当期利益※	-924	<b>-420</b>	504

※親会社株主に帰属する当期純利益

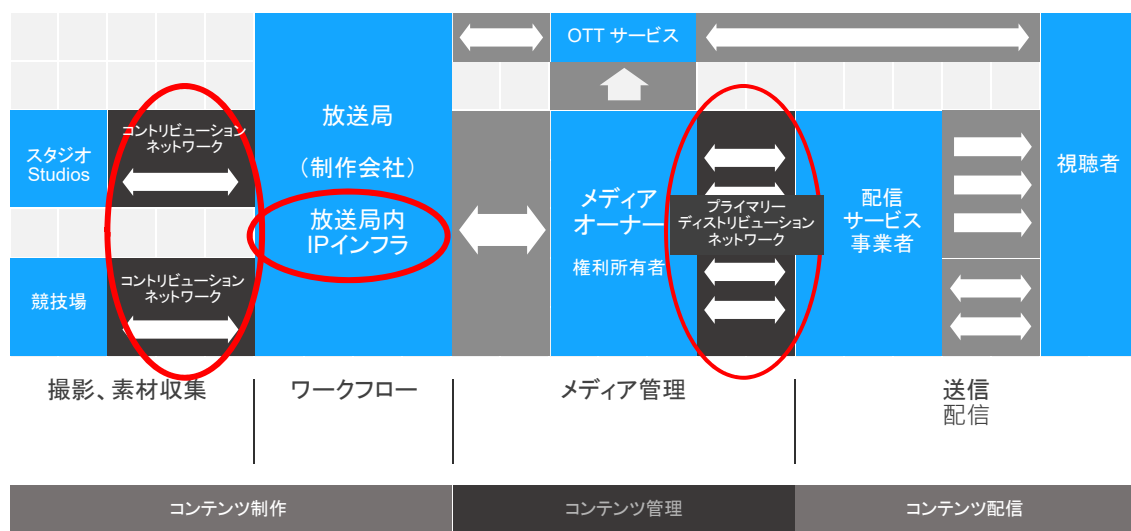
- ・徹底した経費削減につとめ損失は、減少する見通し。
- ・下期は、単月で黒字化する月も出てくる予定。

## 2018年3月期通期 連結業績予想(前期との比較)

(2017年10月26日発表)



### 3. 今後のビジネス展開について



既存のビジネス環境での取り組み  
**マーケット フォーカス**

- SDIから、イーサネット接続への移行
  - ライブスポーツの現場と放送局
  - 放送局内のIPビデオルーターインフラストラクチャー
  - 放送局と視聴者をつなぐプライマリーディストリビューションネットワーク
- 簡単に操作ができ、問題解決が容易なツールの需要が増加
- 4K、8Kのような高解像度フォーマットへの対応できる帯域幅の大きいネットワークへの移行需要も増加

## マーケットトレンド

- 市場での従来技術のSDIからIPに移行が続いているが、世界各地での状況は異なる
- 新しいIPカプセル化とタイミングの基準について、標準ソリューションとベンダーソリューションの間での混乱が続いている
- 設備の更新需要がある潜在的な顧客は、まもなく発表される新しい業界の標準規格を積極的に受け入れる可能性が高い
- 移行のペースは、今後6か月から24か月の間に増加すると予想  
メディアリンクスのビジネスの拡大のチャンス

## マーケットステイタス

ありがとうございました

Thank you very much

**MEDIA LINKS®**  
Media Defined Networking®

株式会社メディアリンクス

<http://www.medialinks.co.jp>

Tel 044-589-3440

Fax 044-589-3441

E-mail [ir@medialinks.co.jp](mailto:ir@medialinks.co.jp)

### 本資料お取り扱い上のご注意

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化、研究開発の進捗、競合状況等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる場合もありますことをご承知おきください。
- 数値表記について  
本資料中の数値表記は、基本的には、決算短信と同様に、百万円未満の数値は切り捨てで表記しております。